

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
宮崎市	水道事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立行政 法人への 移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	
			●		●	●	

抜本的な改革の取組状況

取組事項		(水道事業)広域化等				
実施済	●	(実施類型)	経営統合 ●	施設の 共同設置・利用	(取組の概要)	(実施(予定)時期)
			●		高岡町域: 去川地区簡易水道事業 H27年度末廃止 柞木橋地区簡易水道事業 H28年度末廃止 浦之名地区簡易水道事業 H28年度末廃止 田野町域: 鹿田野地区簡易水道事業 H21年度末廃止 西地区簡易水道事業 H25年度末廃止 八重地区簡易水道事業 H26年度末廃止 野崎地区簡易水道事業 H26年度末廃止 堀口地区簡易水道事業 H27年度末廃止	平成
実施予定		施設管理の 共同化	管理の一体化	(取組の効果額)		(取組の効果額内訳)
				(取組の概要)	(取組の効果額内訳)	年 月 日
検討中				(取組の概要)	(取組の効果額内訳)	
				(取組の概要)	(取組の効果額内訳)	
				(取組の概要)	(取組の効果額内訳)	

取組事項		民間活用(包括的民間委託)				
実施済		(取組の概要)	(実施済のみ)性能発注内容	(実施(予定)時期)		
		上水道施設運転管理業務について、平成21年度から委託を開始し、現在は令和4年4月から令和9年3月までの履行期間で4期目を実施中である。業務内容は、運転監視、保守点検、廃棄物処理施設の技術管理、薬品調達管理、環境整備、水質管理及び物品調達管理等である。公募型プロポーザル方式により受注者を選定した。		令和		
実施予定	●	(取組の効果額)	(取組の効果額内訳)	9 3 31	年 月 日	
		(取組の概要)	(取組の効果額内訳)			
検討中		(取組の概要)	(取組の効果額内訳)			
		(取組の概要)	(取組の効果額内訳)			
		(取組の概要)	(取組の効果額内訳)			

取組事項

民間活用(PPP/PFI方式の活用)

実施済

実施予定 ●

検討中

(取組の概要)

老朽化施設更新及び耐震対策として、浄水汚泥の脱水処理施設整備事業を令和3年3月から令和8年3月までの工事期間で実施中である。PPP/PFI方式はDB方式を採用し、公募型プロポーザル方式により受注者を選定した。

(取組の効果額)

百万円(年)

(取組の概要)

(方式)

BTO方式		公共施設等運営権方式(コンセッション方式)	
BOT方式			
BOO方式			
DB方式	●	港湾運営会社制度	
DBO方式		その他	

(導入・契約(予定)時期)

令和		
8	3	31
年	月	日

(取組の効果額内訳)

計画時のVFM見込み 3.2%

(検討状況・課題)

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
宮崎市	工業用水道事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組							<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 現行の経営体制を継続 ● </div>
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	

抜本的な改革の取組状況

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組み、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

本事業は企業誘致施策の一環として開始されたものであり、経営体制・手法の抜本的な改革にあたっては契約企業の意向を重視する必要があることから検討の余地が少ないことに加え、現在の契約企業は2社のみと事業規模が小さく、今後増える見込みもないことから、民間活用のメリットも少ないと考えられるため。

なお、現在の経営状況は安定しているが、令和7年度から3ヶ年で実施する送水管更新事業の財源を確保するため、令和3年4月分から工業用水道料金の50%増額改定を行ったところである。

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
宮崎市	下水道事業	公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立行 政法人への 移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	
			●		●	●	

抜本的な改革の取組状況

取組事項	(下水道事業)広域化等														
実施済		(実施類型) 汚水処理施設の 統廃合 <div style="text-align: center;">●</div>	処理場廃止あり <div style="text-align: center;">●</div>	処理場廃止なし 	(取組の概要) ・農業集落排水施設の3地区(大瀬町、加江田、仮屋原)を公共下水道へ接続する。 ・し尿処理施設2施設を廃止し、大淀処理場にし尿受入施設を建設する。	(実施(予定)時期) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">令和</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">年</td> <td style="text-align: center;">月</td> <td style="text-align: center;">日</td> </tr> </table>	令和			10	4	1	年	月	日
令和															
10	4	1													
年	月	日													
実施予定	●	公共下水・流域下 水の統合	公共下水同士 の統合	集落排水・公共下水と の統合 <div style="text-align: center;">●</div>	特環下水と公共下 水との統合	その他									
		汚泥処理の 共同化	維持管理・事務 の共同化	最適な汚水処理施設 の選択(最適化)											
		(取組の効果額) 73.6 百万円(年)		(取組の効果額内訳) 農集接続(3地区) 23.4(百万円/年)→18.6(百万円/年) し尿受入施設 517.5(百万円/年) → 448.7(百万円/年)											
検討中	→	(取組の概要)			(検討状況・課題)										

取組事項		民間活用(包括的民間委託)											
実施済	●	<p>(取組の概要)</p> <p>①維持管理にかかる全体事業費の縮減 ②維持管理業務の効率化 ③災害発生時の迅速適切な対応 これらを確保するため。</p>	<p>(実施済のみ)性能発注内容)</p> <p>①処理場施設の運転操作・監視②中継ポンプ場・マンホールポンプ場(以下「MHP」)・その他の施設の運転操作・監視③設備・機器等の保守点検④処理場・中継ポンプ場・MHP・その他の施設の管理⑤エネルギー管理及び温室効果ガスに関する業務⑥維持管理試験⑦環境対策⑧修繕並びに補修及び軽作業業務⑨資材等の調達・管理⑩危機管理⑪その他(見学者対応・安全管理・乾燥肥料の管理)</p>	<p>(実施(予定)時期)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>令和</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> </table>	令和			2	4	1	年	月	日
令和													
2	4	1											
年	月	日											
実施予定													
		<p>(取組の効果額)</p> <p>53 百万円(年)</p>	<p>(取組の効果額内訳)</p> <p>・効果額 53百万円(年) ①維持管理費 年約40百万円の削減 ②人件費 年約13百万円の削減</p>										
検討中		<p>(取組の概要)</p>	<p>(検討状況・課題)</p>										

取組事項		民間活用(PPP/PFI方式の活用)																												
実施済		<p>(取組の概要)</p>	<p>(方式)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>BTO方式</td> <td></td> <td>公共施設等運営権方式(コンセッション方式)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>BOT方式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>BOO方式</td> <td></td> <td>港湾運営会社制度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>DB方式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>DBO方式</td> <td></td> <td>その他</td> <td></td> </tr> </table>	BTO方式		公共施設等運営権方式(コンセッション方式)		BOT方式				BOO方式		港湾運営会社制度		DB方式				DBO方式		その他		<p>(導入・契約(予定)時期)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> </table>				年	月	日
BTO方式		公共施設等運営権方式(コンセッション方式)																												
BOT方式																														
BOO方式		港湾運営会社制度																												
DB方式																														
DBO方式		その他																												
年	月	日																												
実施予定																														
		<p>(取組の効果額)</p> <p>百万円(年)</p>	<p>(取組の効果額内訳)</p>																											
検討中	●	<p>(取組の概要)</p> <p>今後、下水道職員の不足、下水道施設の更新需要増加、下水道使用料収入の減少が見込まれることから、行政と民間が連携し民間の持つ多種多様なノウハウ・技術を活用することにより、行政サービス向上、財政資金の効率的使用や行政の業務効率化を図る必要があるため。</p>	<p>(検討状況・課題)</p> <p>現在、ウォーターPPP導入可能性について調査業務を実施中であるが、導入事例や成果も少ないことから、導入効果や事業者の意向を踏まえた上で国の動向も注視しながら、十二分な研究や検討が必要となる。そのため、R8年度末までに入札・公募を実施することがスケジュール的に困難である。</p>																											

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
宮崎市	下水道事業	特定環境保全公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
							●

抜本的な改革の取組状況

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組みず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

本市の特定環境保全公共下水道事業は、一ツ葉、瓜生野などの4処理区で民家を受け整備を行っているが、公共下水道整備状況や経済性などの観点から、特定環境保全公共下水道事業単独での抜本的な改革は予定していない。
また、特定環境保全公共下水道事業は公共下水道事業と同様の使用料体系を取っており、公共下水道事業会計に含み会計処理を行っていることから、経営状況等を長中期的な視点で考える場合は公共下水道事業の経営状況を考えることと同義であり、特定環境保全公共下水道事業単独での経営改善を目的とした取組み等も予定していない。

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
宮崎市	下水道事業	農業集落排水施設	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
●					●		

抜本的な改革の取組状況

取組事項	事業廃止	
実施済	●	
実施予定		●
検討中		

(取組の概要)
 農業集落排水施設の3地区(大瀬町、加江田、仮屋原)を順次公共下水道へ接続する。仮屋原は令和4年3月31日に廃止済み。大瀬町は令和6年3月31日に廃止済み。

(取組の効果額)
 4.8 百万円(年)

(取組の概要)

(全部と一部の別)

全部廃止	一部廃止
	●

①診療所化・介護施設化
 ②簡易水道事業の飲料水供給施設化
 ③事業目的の完了
 ④民営化・民間譲渡による廃止
 ● ⑤広域化による廃止
 ⑥その他

(取組の効果額内訳)
 農集接続(3地区)
 大瀬町: 12.6(百万円/年)→10.5(百万円/年)
 加江田: 7.5(百万円/年)→6.0(百万円/年)
 仮屋原: 3.3(百万円/年)→2.1(百万円/年)

(検討状況・課題)

(実施(予定)時期)

令和	10	4	1
年	月	日	日

取組事項	民間活用(包括的民間委託)	
実施済	●	
実施予定		
検討中		

(取組の概要)
 ①維持管理にかかる全体事業費の縮減
 ②維持管理業務の効率化
 ③災害発生時の迅速適切な対応
 これらを確保するため。

(取組の効果額)
 0.1 百万円(年)

(取組の概要)

((実施済のみ)性能発注内容)
 ①処理場施設の運転操作・監視②中継ポンプ場・マンホールポンプ場(以下「MHP」)・その他の施設の運転操作・監視③設備・機器等の保守点検④処理場・中継ポンプ場・MHP・その他の施設の管理⑤エネルギー管理及び温室効果ガスに関する業務⑥維持管理試験⑦環境対策⑧修繕並びに補修及び軽作業業務⑨資材等の調達・管理⑩危機管理⑪その他(安全管理)

(取組の効果額内訳)
 ・委託費
 移行前 農集: 田野 19.4
 移行後 農業: 田野 19.3(▲0.1) ※単位: 百万円/年

(検討状況・課題)

(実施(予定)時期)

令和	6	4	1
年	月	日	日

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
宮崎市	下水道事業	特定地域排水処理施設	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
						●	

取組事項	民間活用(PPP/PFI方式の活用)																																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">実施済</td> <td style="width: 50%; text-align: center; vertical-align: middle;">●</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">実施予定</td> <td></td> </tr> </table>	実施済	●	実施予定		<p style="text-align: center;">(取組の概要)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: small;"> 事業の効率化と民間活力(民間事業者の技術やノウハウ等)を活用した整備の促進を図るために実施した。 事業金額: 25億1,327万6千円(10年間) </div>	<p style="text-align: center;">(方式)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <tr> <td>BTO方式</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td>公共施設等運営権方式(コンセッション方式)</td> </tr> <tr> <td>BOT方式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>BOO方式</td> <td></td> <td>港湾運営会社制度</td> </tr> <tr> <td>DB方式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>DBO方式</td> <td></td> <td>その他</td> </tr> </table>	BTO方式	●	公共施設等運営権方式(コンセッション方式)	BOT方式			BOO方式		港湾運営会社制度	DB方式			DBO方式		その他	<p style="text-align: center;">(導入・契約(予定)時期)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center; font-size: small;"> <tr> <td>平成</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>3</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> </table>	平成			29	3	21	年	月	日	<p style="text-align: center;">(取組の効果額)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center; font-size: small;"> <tr> <td>220</td> <td>百万円(年)</td> </tr> </table>	220	百万円(年)	<p style="text-align: center;">(取組の効果額内訳)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: x-small;"> 10年間で1,500基設置した場合の財政負担見込額 市直営: 838,638,351円 - PFI: 618,938,519円 = 219,699,832円(10年) → 21,969,983円/年 </div>
実施済	●																																		
実施予定																																			
BTO方式	●	公共施設等運営権方式(コンセッション方式)																																	
BOT方式																																			
BOO方式		港湾運営会社制度																																	
DB方式																																			
DBO方式		その他																																	
平成																																			
29	3	21																																	
年	月	日																																	
220	百万円(年)																																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">検討中</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> </table>	検討中		<p style="text-align: center;">(取組の概要)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div>	<p style="text-align: center;">(検討状況・課題)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div>																															
検討中																																			

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
宮崎市	病院事業		

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立 行政法人 への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	
●				●			

抜本的な改革の取組状況

取組事項		事業廃止																										
実施済	●	<p>(取組の概要)</p> <p>【概要】宮崎市立田野病院に併設されていた介護老人保健施設(さざんか苑)について、令和4年4月1日をもって廃止した【理由】①周辺高齢者施設の整備が図られてきたことに加え、「在宅復帰の支援」という面で田野病院とその役割が重複し、公営企業として経営する必要性が薄れてきた為②介護老人保健施設事業は十分な採算性を確保できず、赤字経営の常態化を招く要因となっていた為</p> <p>(取組の効果額)</p> <p style="text-align: center;">122 百万円(年)</p>	<p>(全部と一部の別)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%;">全部廃止</th> <th style="width: 50%;">一部廃止</th> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">●</td> </tr> </table> <p>(実施(予定)時期)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">令和</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">年</td> <td style="text-align: center;">月</td> <td style="text-align: center;">日</td> </tr> </table> <p>(取組の効果額内訳)</p> <p>介護老人保健施設事業単体の経常損失額(令和3年度実績 ※本事業最終年度): ▲約1億2,200万円 ※損失については、事業廃止に向けた動き(新規利用者受入停止に伴う収益減等)による一過性要因含む</p> <p>(全部と一部の別)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">●</td> <td>①診療所化・介護施設化</td> </tr> <tr> <td></td> <td>②簡易水道事業の飲料水供給施設化</td> </tr> <tr> <td></td> <td>③事業目的の完了</td> </tr> <tr> <td></td> <td>④民営化・民間譲渡による廃止</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑤広域化による廃止</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑥その他</td> </tr> </table>	全部廃止	一部廃止		●	令和			4	4	1	年	月	日	●	①診療所化・介護施設化		②簡易水道事業の飲料水供給施設化		③事業目的の完了		④民営化・民間譲渡による廃止		⑤広域化による廃止		⑥その他
全部廃止	一部廃止																											
	●																											
令和																												
4	4	1																										
年	月	日																										
●	①診療所化・介護施設化																											
	②簡易水道事業の飲料水供給施設化																											
	③事業目的の完了																											
	④民営化・民間譲渡による廃止																											
	⑤広域化による廃止																											
	⑥その他																											
実施予定		<p>(取組の概要)</p>	<p>(検討状況・課題)</p>																									
検討中		<p>(取組の概要)</p>	<p>(検討状況・課題)</p>																									

取組事項

民間活用(指定管理者制度)

実施済	●
-----	---

実施予定	
------	--

検討中	
-----	--

(取組の概要)

【概要】国立大学法人宮崎大学を指定管理者として、宮崎市立田野病院(42床)を管理運営している。
 【理由】医師不足による医療体制の脆弱化及び赤字経営の状態化という二つの課題を抱えていた為、指定管理者制度を導入。
 【効果】宮崎大学の医師等が従事することで人材確保の面では改善してきている。
 H26年度 医師3名【直営時】
 ⇒R6年度 医師4名(常勤) 5名(非常勤)【R6年度末時点】

(取組の効果額)

313	百万円(年)
-----	--------

(取組の概要)

--

(方式)

代行制	利用料金制
●	

(実施(予定)時期)

平成		
27	4	1
年	月	日

(取組の効果額内訳)

指定管理者制度導入前の経常収支(平成26年度実績)
 病院事業:約1億6,000万円の経常損失
 介護老人保健施設事業:約9,800万円の経常損失
 合計:約2億5,800万円の経常損失

指定管理者制度導入後の経常収支(令和5年度実績)
 病院事業:5,500万円の経常利益
 ※介護老人保健施設事業:令和4年4月1日廃止済

※効果額:258百万円+55百万円=313百万円

(検討状況・課題)

--

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
宮崎市	市場事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
				●			

取組事項	民間活用(指定管理者制度)																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">実施済</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実施予定</td> <td></td> </tr> </table>	実施済		実施予定		<p>(取組の概要)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%;"></div> <p>(取組の効果額)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> <small>百万円(年)</small> </div>	<p>(方式)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">代行制</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">利用料金制</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table> <p>(取組の効果額内訳)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>	代行制	利用料金制			<p>(実施(予定)時期)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">年</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">月</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">日</td> </tr> <tr> <td style="height: 30px;"></td> <td style="height: 30px;"></td> <td style="height: 30px;"></td> </tr> </table>			年	月	日			
実施済																			
実施予定																			
代行制	利用料金制																		
年	月	日																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">検討中</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">●</td> </tr> </table>	検討中	●	<p>(取組の概要)</p> <p>指定管理者制度導入等を含め、市場のあり方について検討中。</p>	<p>(検討状況・課題)</p> <p>導入のメリット、デメリット等を検討中。今後の市場のあり方を検討していく中で他の運営方法についても検討していく予定。</p>															
検討中	●																		

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
宮崎市	宅地造成事業	その他造成	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立 行政法人 への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

現行の経営体制・手法で、健全な事業運営が実施できている。
本市の宅地造成事業は、土地区画整理事業の進捗と密接に関係しており、現行の体制を継続することが望ましい。事業計画に基づいた市施行の事業であるため、抜本的な改革を行う予定はない。